

九州圏在住者から見た
中国地方の観光地の実態と魅力度

報告書

平成 27 年 3 月

中国経済連合会

目 次

1. 調査概要	1
1) 調査目的	1
2) 調査手法及びサンプル数.....	1
3) 観光エリアの設定.....	2
2. 調査結果	4
1) 回答者属性	4
2) 訪問経験	5
3) 満足度	8
4) 交通手段	12
5) 訪問希望地	12
6) 中国地方への旅行.....	17
7) 中国地方の名称.....	18
8) 中国地方のイメージ.....	19
9) 中国地方の特産品.....	23
10) 周遊ルート	24
3. まとめ	26

1. 調査概要

1) 調査目的

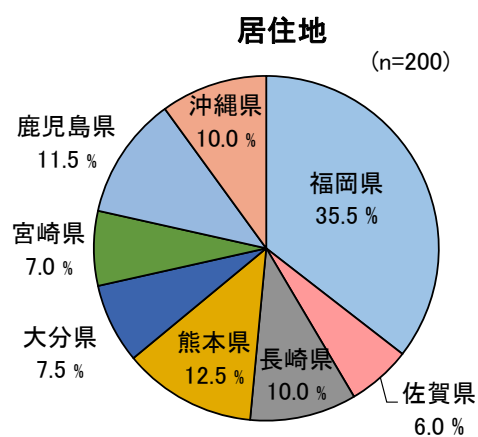
○中国経済連合会は、中国地方の観光地に対する認識や評価について、ウェブアンケート調査を実施している。2012年度には首都圏在住者を対象に、2013年度には関西圏在住者を対象に調査を実施した。

○今回は、隣接圏域である九州圏在住者の中国地方の観光地に対する認識及び評価を把握するため、2014年12月に楽天リサーチに委託し、ウェブアンケート調査を実施した。回答者は九州圏（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県の8県）在住者であり、合計で200名である。

2) 調査手法及びサンプル数

- ・実施日 : 2014年12月19日～22日
- ・調査手法 : インターネット調査（楽天リサーチ）により実施
- ・サンプル数 : 九州圏200件

居住地	サンプル数	構成比(%)
福岡県	71	35.5
佐賀県	12	6.0
長崎県	20	10.0
熊本県	25	12.5
大分県	15	7.5
宮崎県	14	7.0
鹿児島県	23	11.5
沖縄県	20	10.0
計	200	100.0



3) 観光エリアの設定

- ・既存の調査と同様に、中国5県の観光動態調査で設定されているエリアをベースとして、観光入込客数の多い観光エリアを中心に、各県10エリア程度を設定した。
- ・観光エリアのイメージや内容をわかりやすくするため、観光エリアの名称だけでなく、そこに含まれる代表的観光資源について3つ程度付記した。

観光エリア及び代表的観光資源

鳥 取 県	1. 鳥取 (鳥取砂丘、浦富海岸、仁風閣など)
	2. 智頭 (石谷家住宅、若桜鉄道、氷ノ山など)
	3. 倉吉 (白壁土蔵の町並み、三徳山三仏寺など)
	4. 三朝温泉
	5. 羽合 (羽合温泉、東郷温泉、燕趙園など)
	6. 北栄 (コナン通り、青山剛昌ふるさと館など)
	7. 大山 (大山、スキー場、植田正治写真美術館、とっとり花回廊など)
	8. 米子 (皆生温泉など)
	9. 境港 (水木しげるロード(記念館)など)
島 根 県	10. 松江 (松江城、小泉八雲旧居、堀川巡り、宍道湖の夕日など)
	11. 玉造温泉
	12. 出雲 (出雲大社、一畑薬師、島根ワイナリー、日御碕灯台など)
	13. 奥出雲 (鬼の舌震、亀嵩温泉、絲原記念館 (たたら製鉄) など)
	14. 安来 (足立美術館、清水寺など)
	15. 石見銀山 (石見銀山、三瓶山、温泉津温泉など)
	16. 浜田 (石見海浜公園、アクアス (水族館) など)
	17. 邑南 (香木の森公園、瑞穂ハイランド (スキー場) など)
	18. 津和野・益田 (太鼓谷稲成神社、安野光雅美術館、雪舟庭園など)
19. 隠岐 (隠岐国分寺、玉若酢命神社、知夫赤壁など)	
岡 山 県	20. 岡山 (後樂園、岡山城など)
	21. 吉備路 (吉備津神社、備中国分寺など)
	22. 倉敷 (美観地区、大原美術館など)
	23. 児島・玉野 (鷲羽山、瀬戸大橋架橋記念館、下津井、渋川海岸など)
	24. 備前 (閑谷学校、備前焼、日生諸島など)
	25. 牛窓 (牛窓オリーブ園、海水浴場など)
	26. 高梁 (備中松山城、吹屋ふるさと村など)
	27. 津山 (新庄がいせん桜、城東の町並みなど)
	28. 蒜山高原
29. 美作三湯 (湯原温泉、奥津温泉、湯郷温泉)	

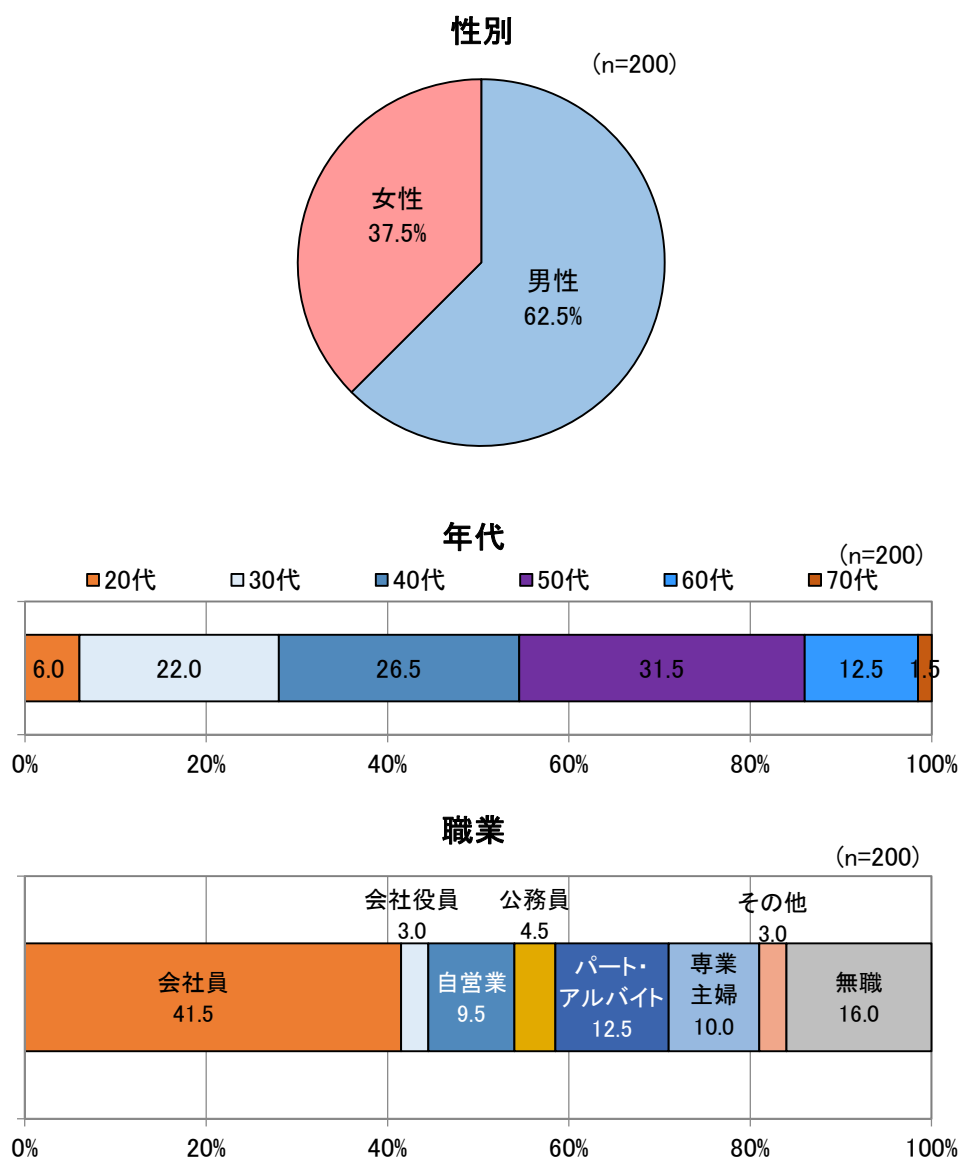
広島県	30. 広島（平和公園、原爆ドーム、お好み村など）
	31. 宮島（厳島神社、弥山、みやじマリン（水族館）など）
	32. 呉・江田島（大和ミュージアム、旧海軍兵学校など）
	33. 竹原（町並み保存地区、大久野島など）
	34. 尾道（千光寺公園、社寺巡り、映画ロケ地など）
	35. しまなみ海道（耕三寺、平山郁夫美術館など）
	36. 福山（鞆の浦、ばら公園、ふくやま美術館など）
	37. 三次・庄原（三次ワイナリー、帝釈峡、国営備北丘陵公園、奥田元宋・小由女美術館など）
	38. 安芸高田（土師ダム、神楽門前湯治村など）
39. 芸北（三段峡、温井ダム、スキー場など）	
山口県	40. 下関（海峡ゆめタワー、海響館（水族館）、唐戸市場、赤間神宮など）
	41. 山口（サビエル記念聖堂、湯田温泉、雪舟庭、瑠璃光寺五重塔など）
	42. 秋吉台・秋芳洞
	43. 萩（松下村塾、松蔭神社、萩博物館など）
	44. 長門（湯本温泉、青海島、金子みすゞ記念館、角島大橋など）
	45. 宇部・山陽小野田（ときわ公園、焼野海岸、産業観光など）
	46. 防府（防府天満宮、周防国分寺、毛利庭園など）
	47. 周南・下松・光（笠戸島、回天記念館、室積海岸、虹が浜など）
	48. 柳井・周防大島（白壁の町並み、片添ヶ浜など海水浴場、サザンセットなど）
	49. 岩国（錦帯橋、岩国城、白蛇、美川ムーバレーなど）

2. 調査結果

※以降の調査結果におけるグラフ数値は小数第二位を四捨五入したものである。

1) 回答者属性

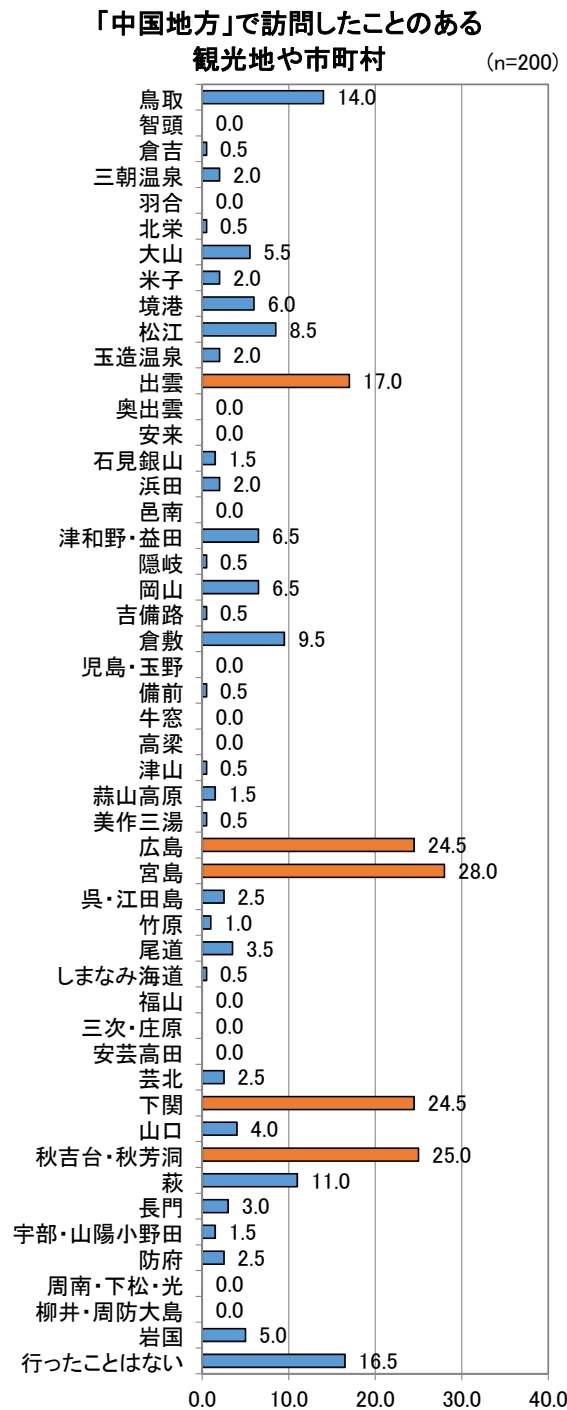
回答者の属性として、性別では男性が62.5%、年代は40代～50代で全体の58%を占めている。職業は会社員が41.5%ともっとも多く、次いで無職16.0%、パート・アルバイト12.5%となっている。



2) 訪問経験

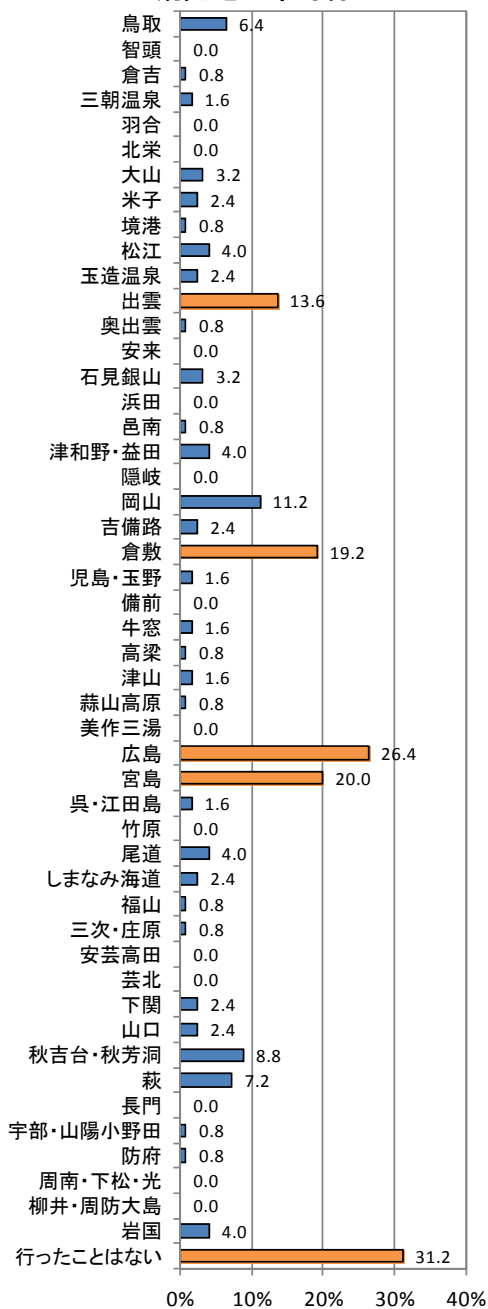
(1) 全体

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問したことのある観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も訪問した人が多かったのは宮島であり、次いで秋吉台・秋芳洞、下関、広島となっている。昨年度までに実施した首都圏・関西圏調査結果と比較し、秋吉台・秋芳洞、下関などの訪問経験が非常に大きくなっている。一方、中国地方へ行ったことはないと回答した人が16.5%となっており、関西圏と比べて高くなっている。



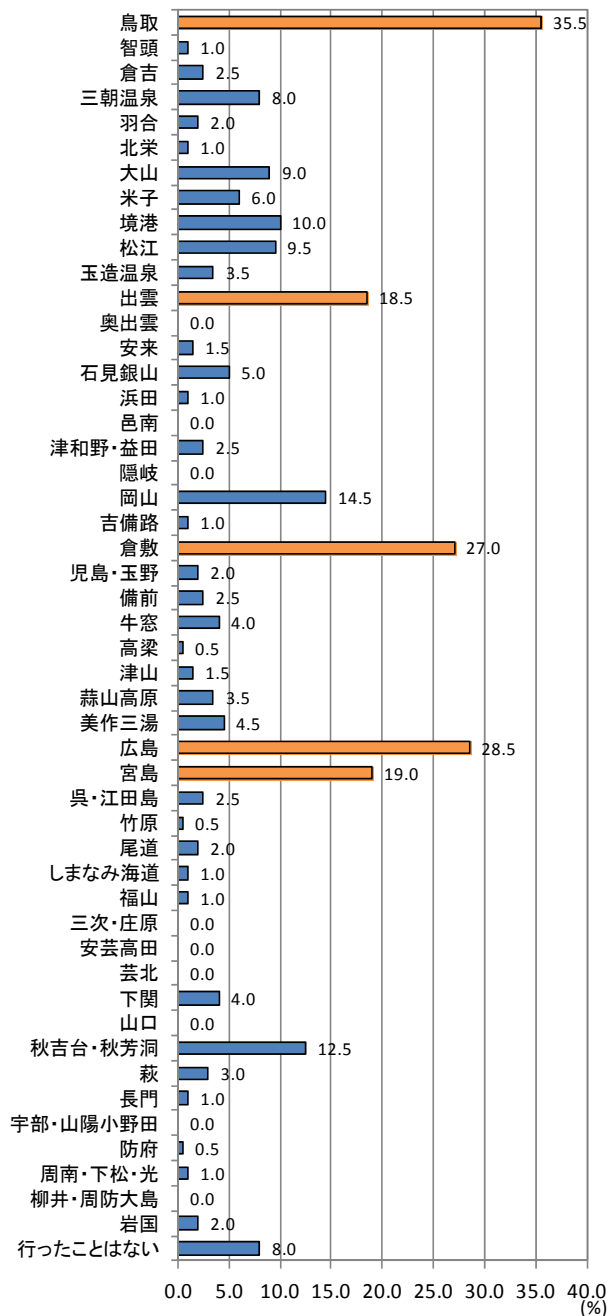
(参考:首都圏調査結果(平成24年度))

「中国地方」で訪問したことのある
観光地や市町村 (n=125)

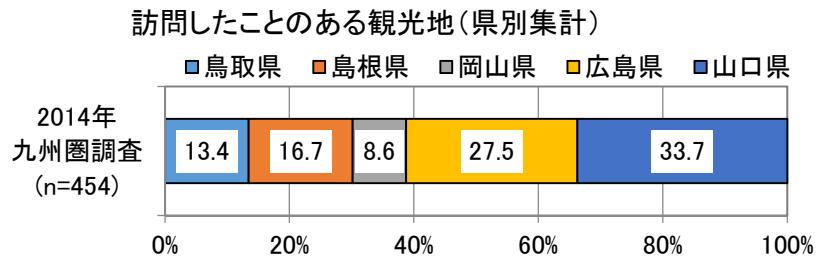


(参考:関西圏調査結果(平成25年度))

「中国地方」で訪問したことのある
観光地や市町村 (n=200)



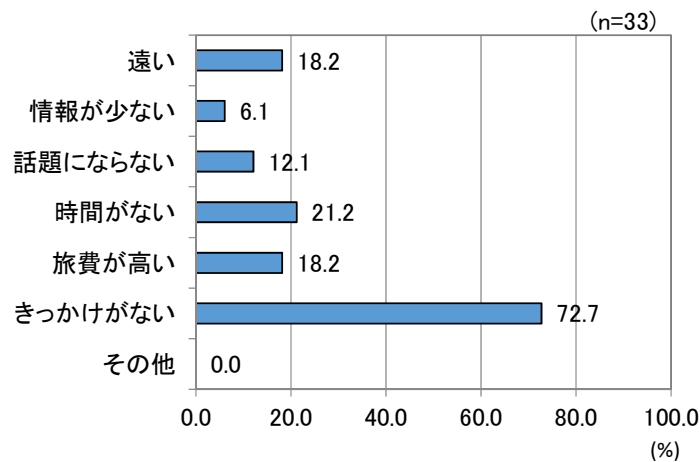
訪問したことがある観光地の回答を県別に合計したところ、山口県が33.7%と最も多く、ついで広島県27.5%、島根県16.7%となっており、九州圏に近接した地域の訪問割合が高くなっている。



(2) 未訪問理由

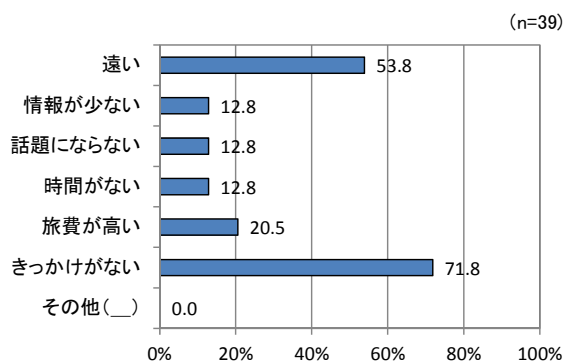
本調査において中国地方に行ったことがない人は16.5% (33人)であったが、それらの回答者に対しその理由を聞いたところ、「きっかけがない」との回答が72.7%と最も多かった。昨年度の関西圏調査結果と比べ「情報が少ない」、「話題にならない」という回答が多く、同じ隣接圏域である関西圏よりも情報が少ないと思われる。

「中国地方」に行ったことがない理由



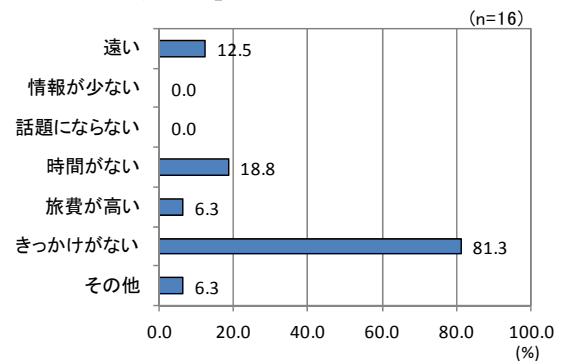
(参考: 首都圏調査結果(平成24年度))

「中国地方」に行ったことがない理由



(参考: 関西圏調査結果(平成25年度))

「中国地方」に行ったことがない理由

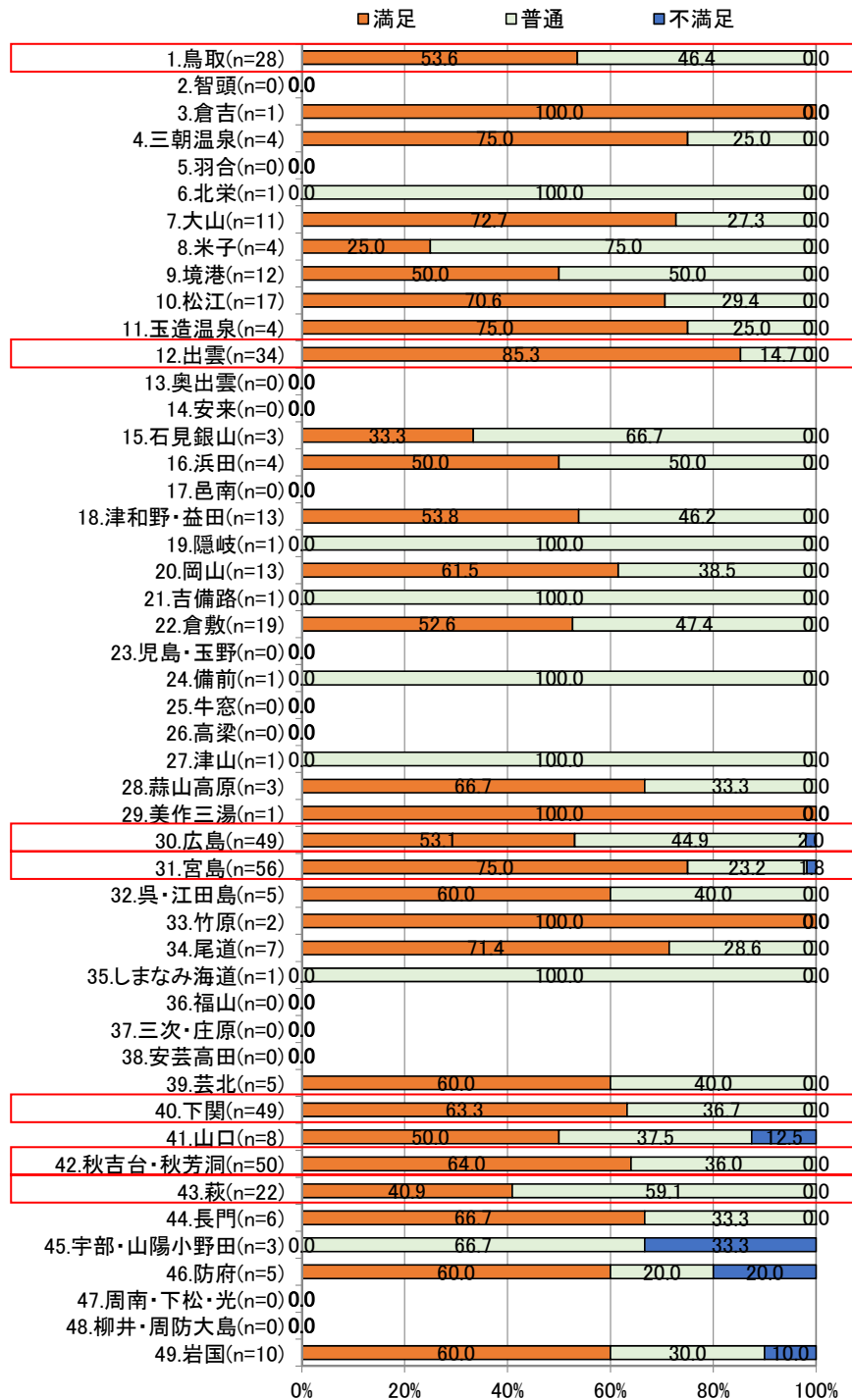


3) 満足度

(1) 全体

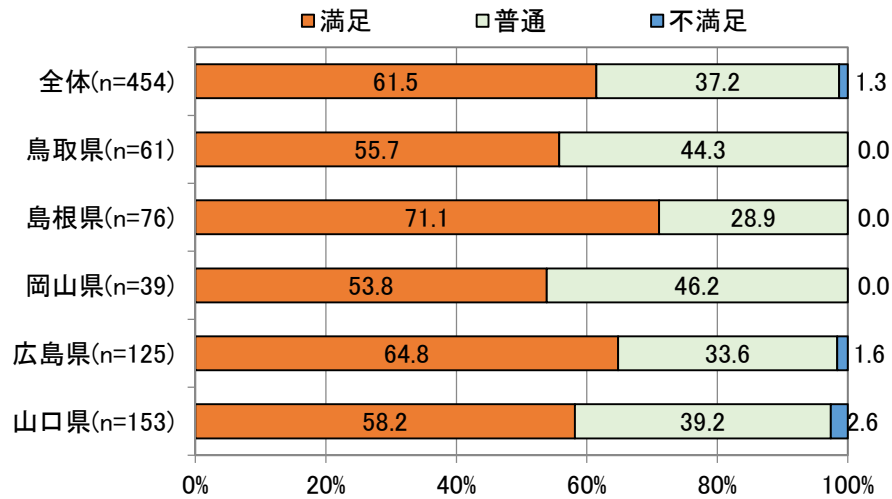
訪問したことのある観光地や市町村に対する満足度を聞いたところ、以下のような結果となった。訪問経験者の多い地域（サンプル20名以上、以下赤枠囲み部分）の「満足」の割合に着目すると、出雲や宮島では高いが、萩は40.9%と他に比べて低くなっている。

「中国地方」で訪問したことのある観光地や市町村の満足度



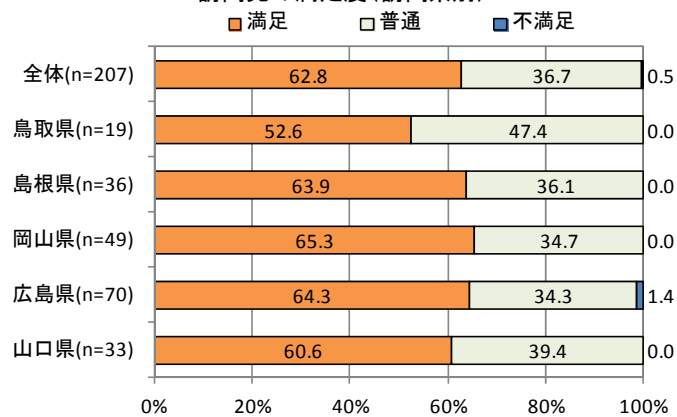
上記の各地の満足度を集計したところ、全体の「満足」は 61.5%と高く、「不満足」は 1.3%と少ない。訪問県別にみると、各県とも「満足」という評価が過半数となっている。

訪問先の満足度(訪問県別)



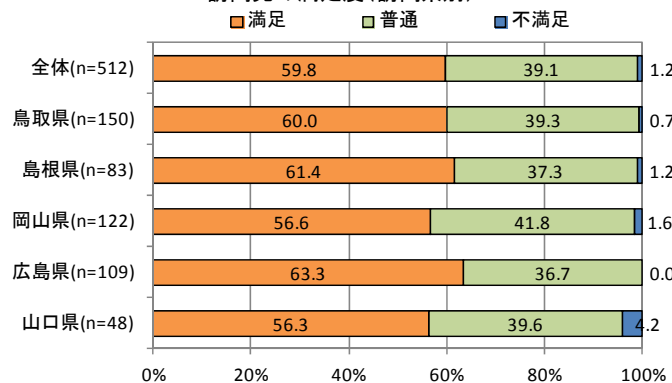
(参考:首都圏調査結果(平成 24 年度))

訪問先の満足度(訪問県別)



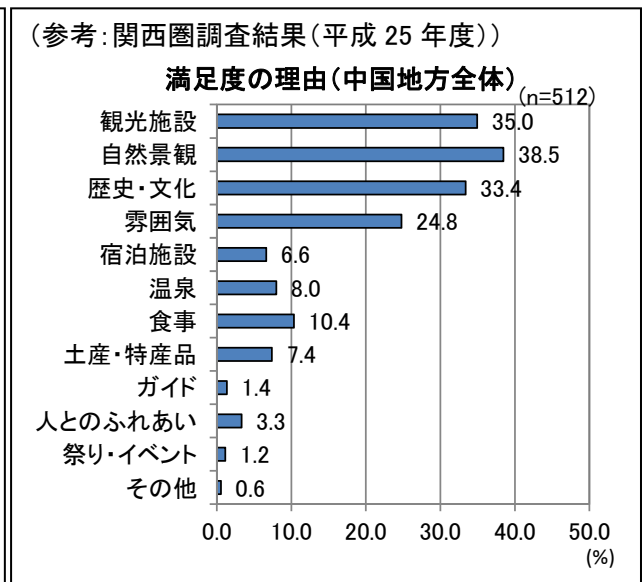
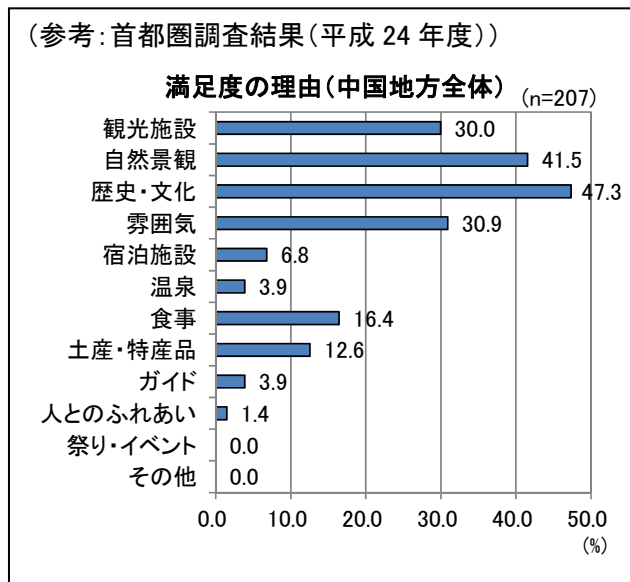
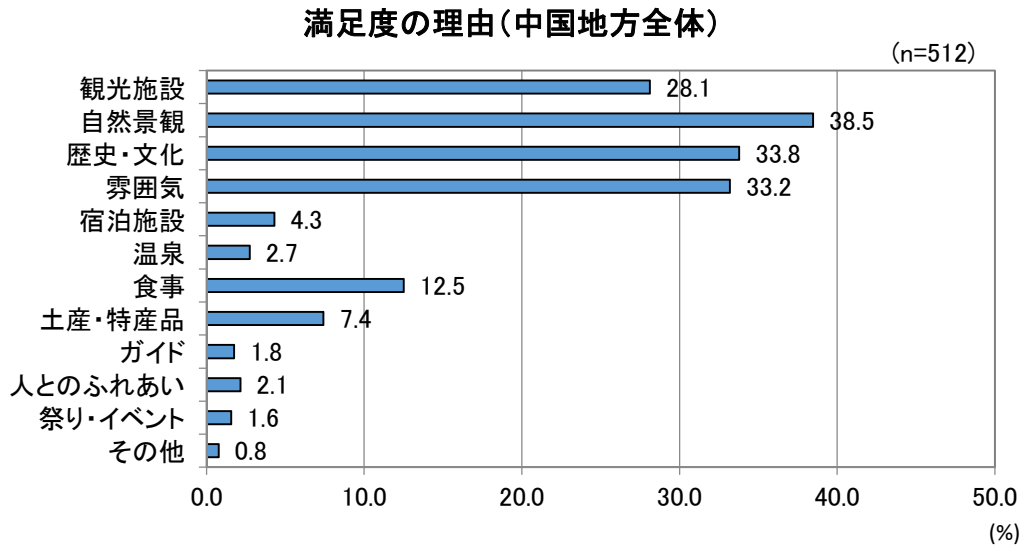
(参考:関西圏調査結果(平成 25 年度))

訪問先の満足度(訪問県別)

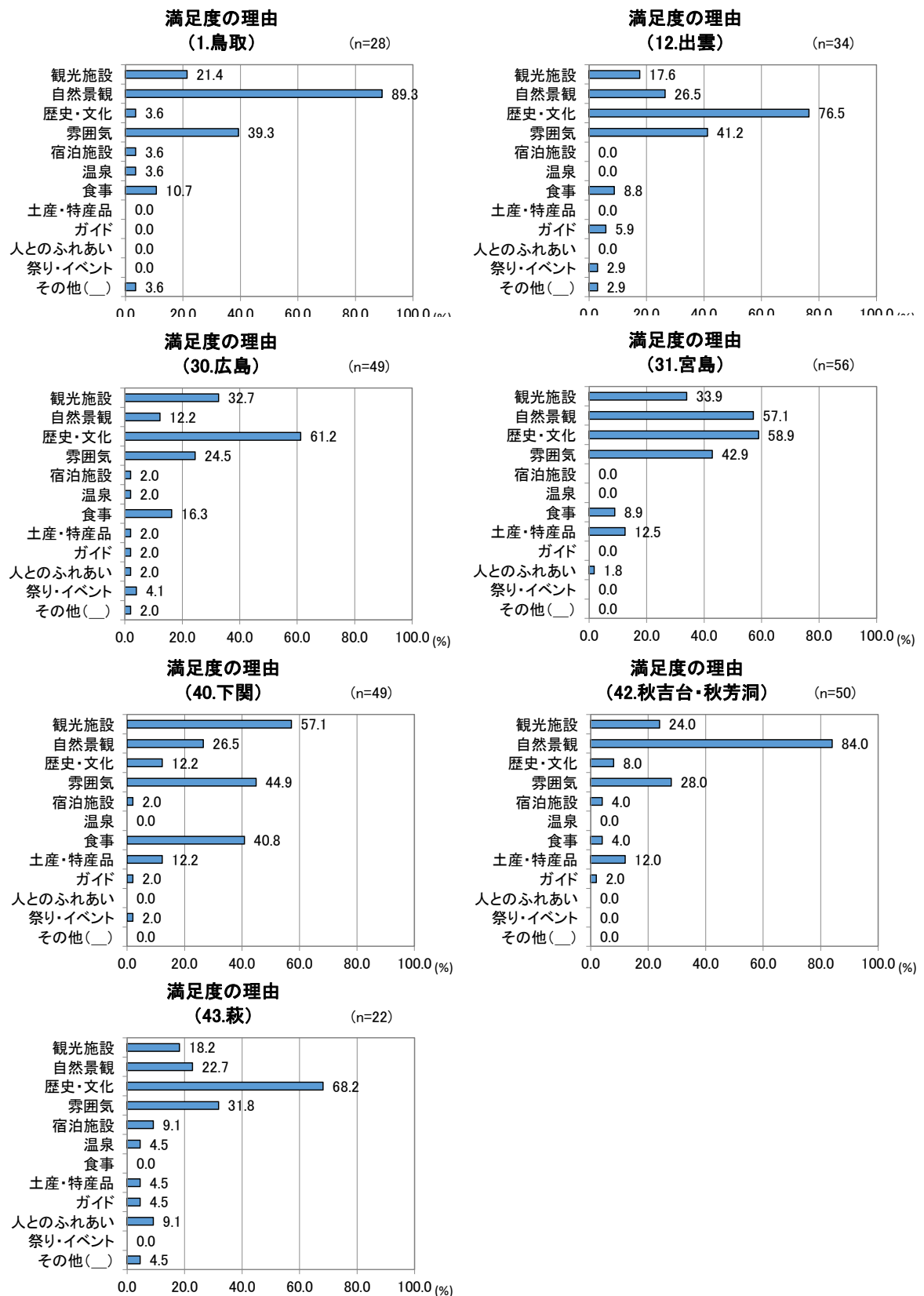


(2) 満足度の理由

前問の満足度評価の理由をみると、中国地方全体としては「自然景観」が38.5%と最も高く、ついで「歴史・文化」が33.8%、「雰囲気」が33.2%となっている。中国地方のセールスポイントの最大要素として「自然景観」が挙げられ、次いで歴史・文化、雰囲気、観光施設の要素を含め中国地方の観光の魅力が形成されていることがわかる。また、温泉、食事、宿泊施設、ガイドなどの回答は少なく、一層の充実が必要と思われる。

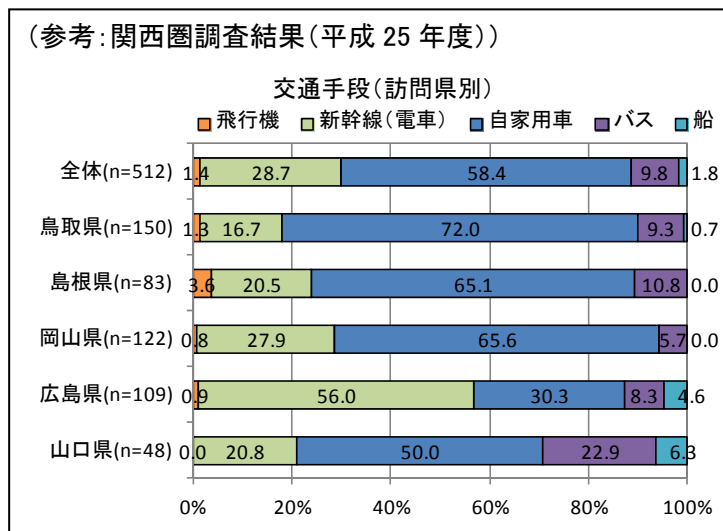
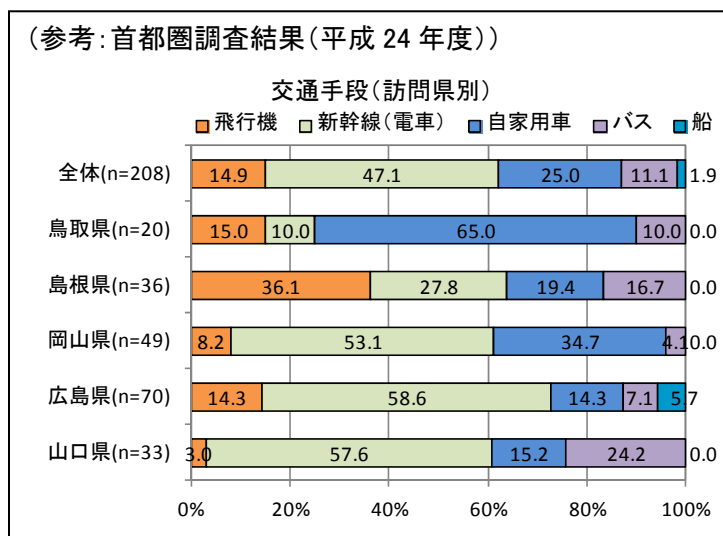
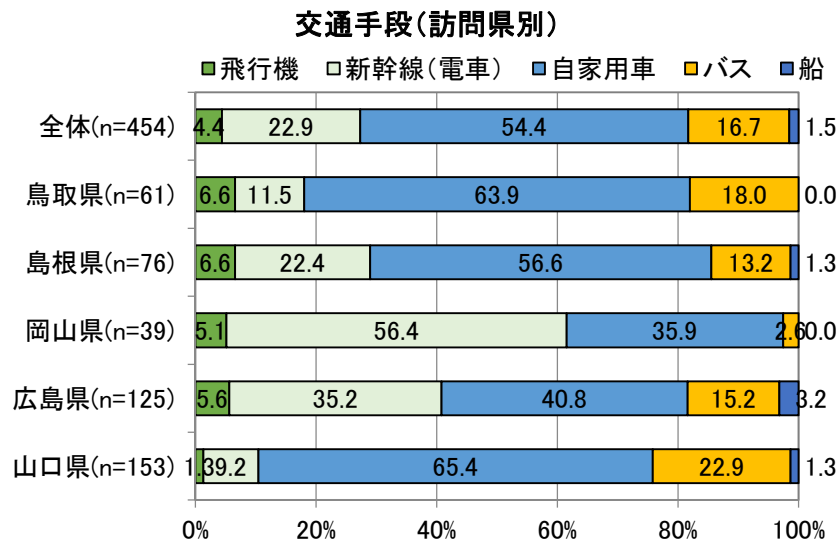


訪問経験者の多い地域（サンプル 20 名以上）について、それぞれ満足度評価の理由は以下のとおりである。満足度が高い地域では、鳥取や秋吉台・秋芳洞の「自然景観」、出雲や広島「歴史・文化」、下関の「観光施設」など、各地域の特色が挙げられている。萩は満足との回答が4割にとどまるが、その評価の理由は「歴史・文化」となっている。



4) 交通手段

中国地方に訪問したことがある人を対象にして、主な交通手段をみると、「自家用車」が54.4%と最も多く、「新幹線(電車)」が22.9%となっている。訪問県別にみると、山口県、鳥取県は「自家用車」の割合が60%を超えている。



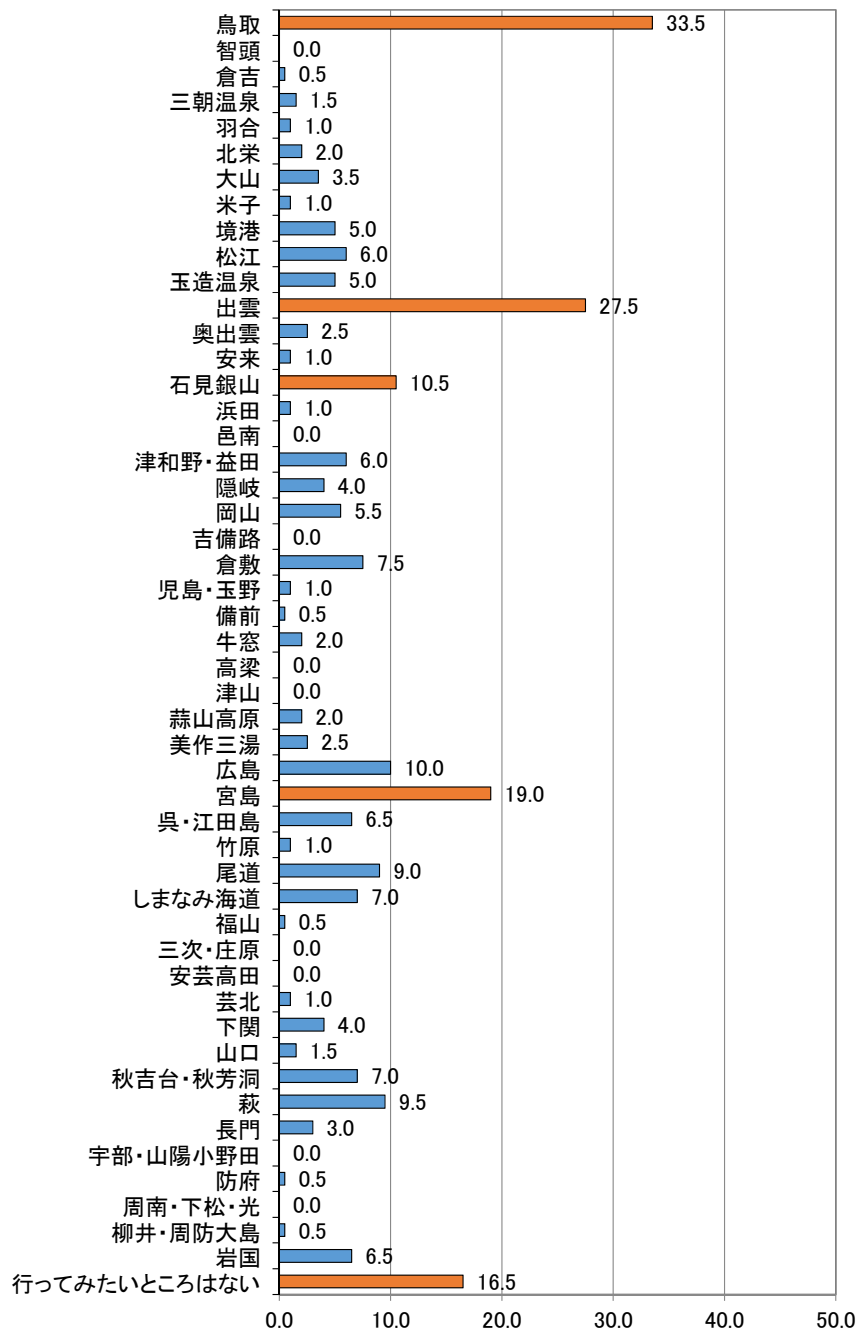
5) 訪問希望地

(1) 全体

中国地方を49の観光エリアに分け、訪問してみたい観光地や市町村を3箇所まで聞いたところ、最も多かったのは鳥取(33.5%)であり、次いで出雲、宮島となっている。鳥取は中国地方の中では九州圏から最も遠く、未訪問者のイメージが良いものと想定される。首都圏・関西圏調査結果と比較すると、傾向としては首都圏の調査結果に類似している。

「中国地方」で行ってみたい観光地や市町村

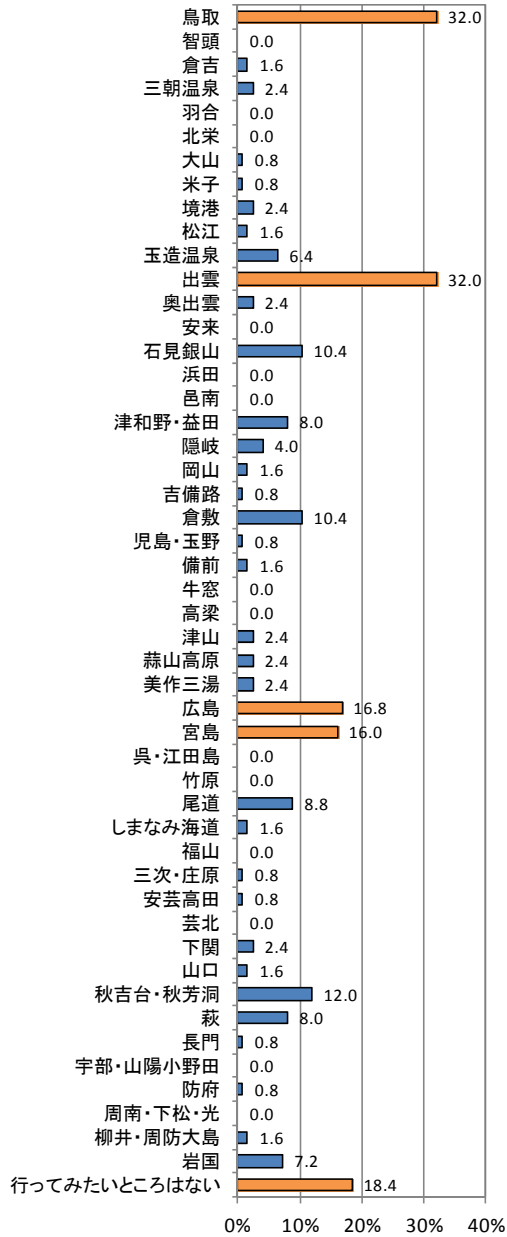
(n=200)



(参考:首都圏調査結果(平成24年度))

「中国地方」で行ってみたい

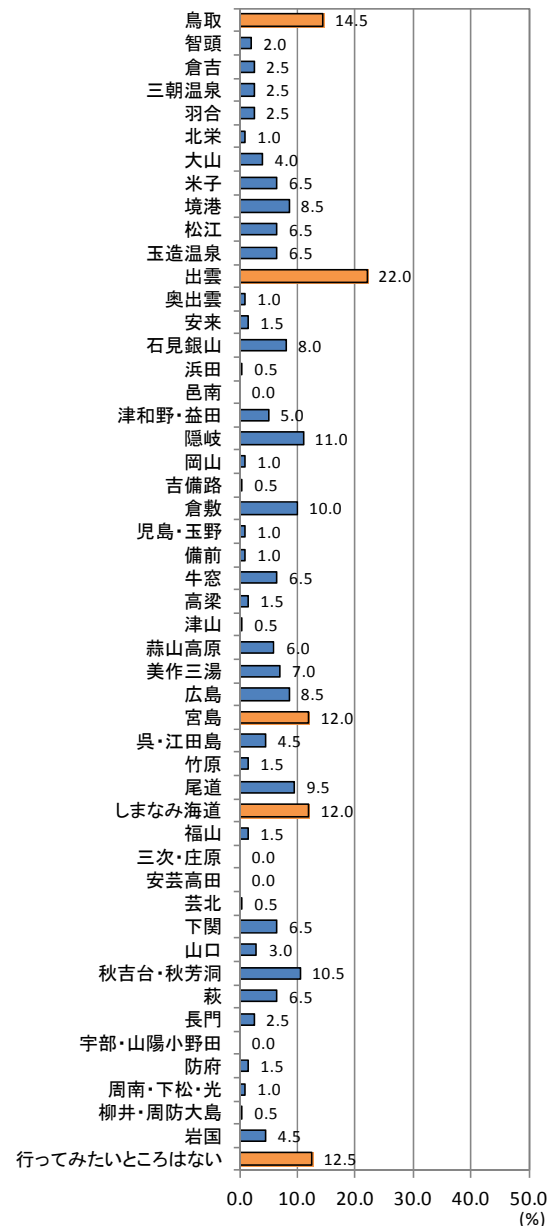
観光地や市町村 (n=125)



(参考:関西圏調査結果(平成25年度))

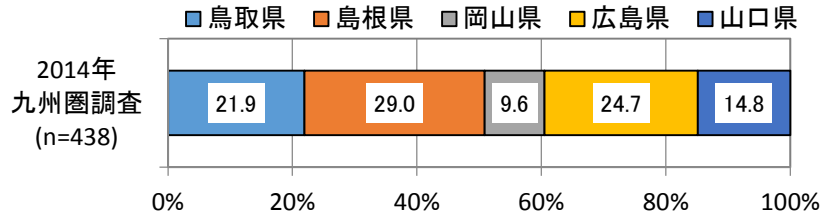
「中国地方」で行ってみたい

観光地や市町村 (n=200)



上記の回答を県別に合計したところ、島根県が 29.0%と最も多く、ついで広島県 24.7%、鳥取県 21.9%となっており、山陰地方への訪問希望が高くなっている。

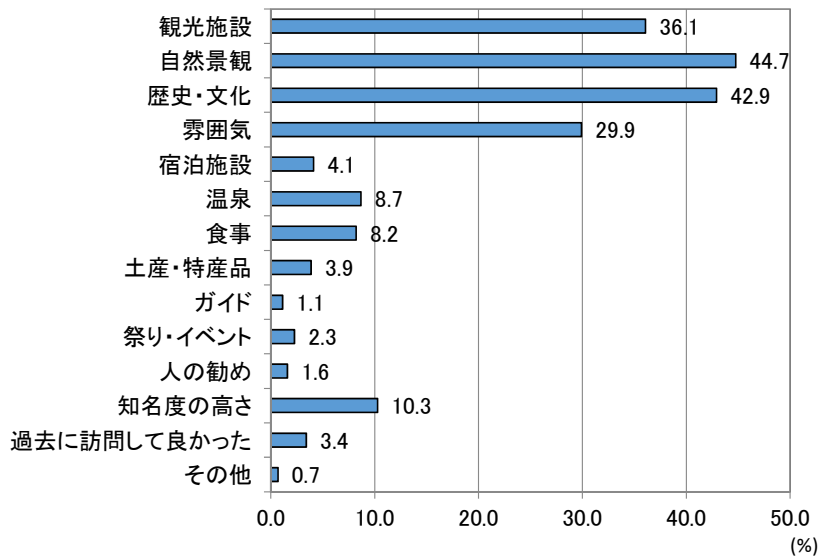
中国地方の中で行ってみたい観光地(県別集計)



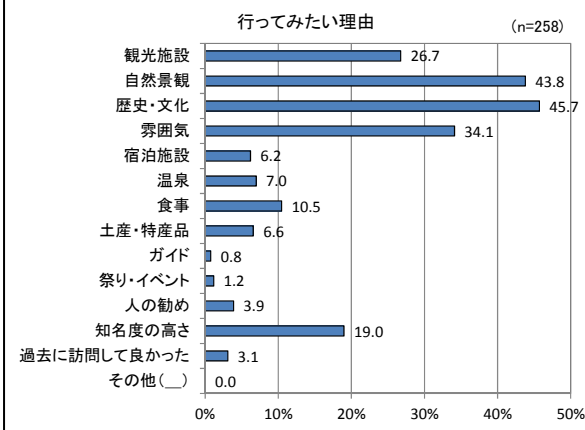
(2) 訪問希望の理由

中国地方の各観光地(県)に行ってみたい理由としては「自然景観」が 44.7%と最も多くなっている。訪問希望理由の上位4項目は、前述の満足度の上位4項目と同一であり、「自然景観」を中心とする4要素が中国地方の観光の魅力とイメージを形成しているといえる。

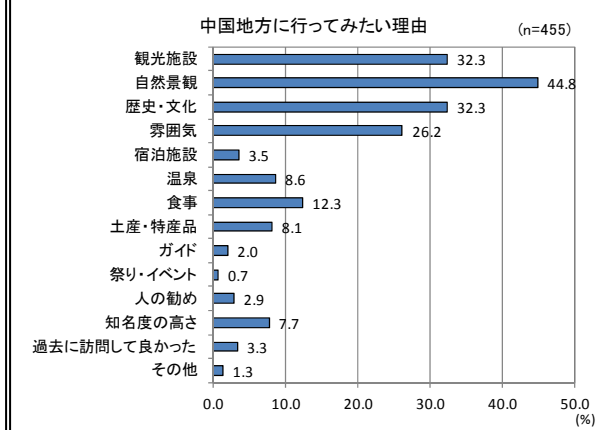
中国地方に行ってみたい理由 (n=438)



(参考: 首都圏調査結果(平成 24 年度))



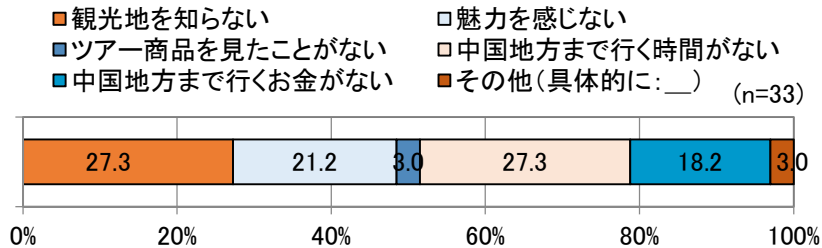
(参考: 関西圏調査結果(平成 25 年度))



(3) 訪問希望が無い理由

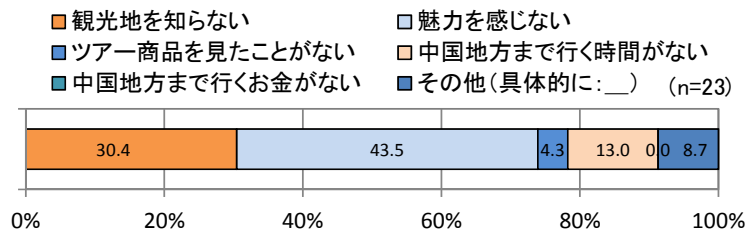
「行ってみたいところがない」と回答した人に対し、その理由を聞いたところ、「観光地を知らない」「中国地方まで行く時間が無い」という回答がそれぞれ 27.3%と多くなっている。首都圏・関西圏調査結果と比較して、「魅力を感じない」という回答は少なくなっているが、「行く時間が無い」という回答は多くなっている。

「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたくところがない理由



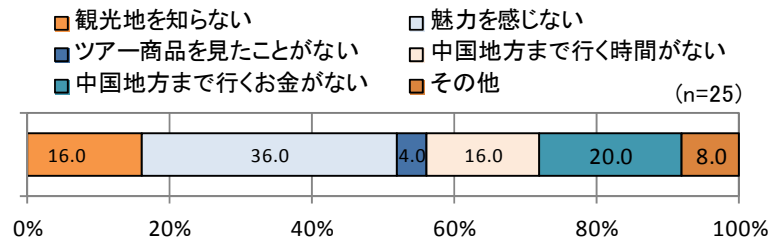
(参考:首都圏調査結果(平成 24 年度))

「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたくところがない理由



(参考:関西圏調査結果(平成 25 年度))

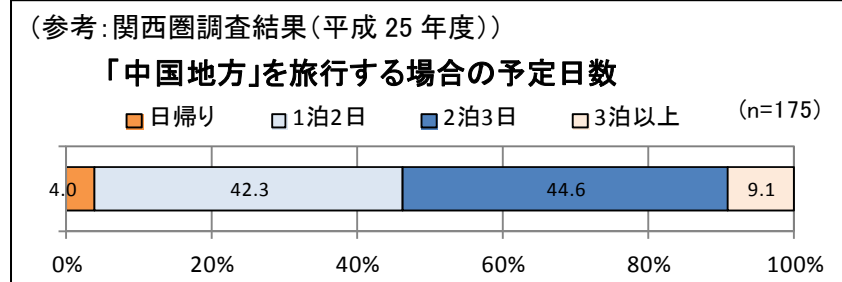
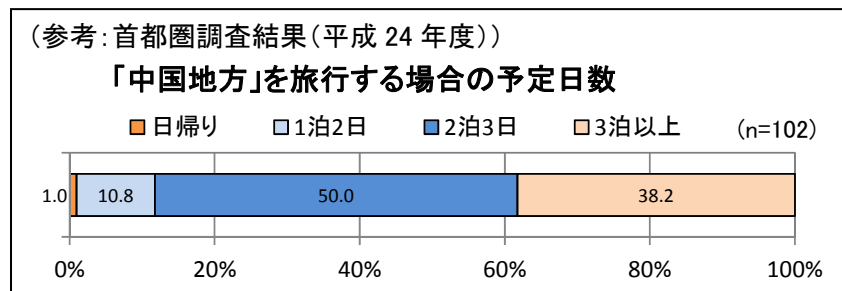
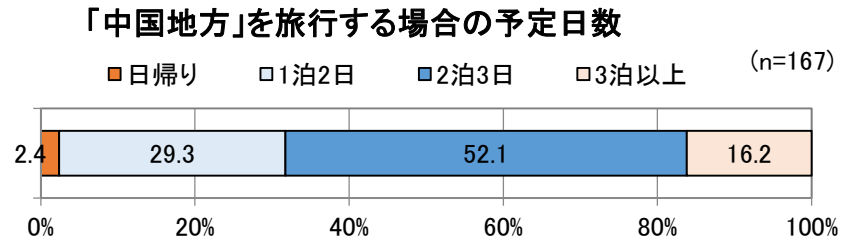
「中国地方」の観光地や市町村に行ってみたくところがない理由



6) 中国地方への旅行

(1) 予定日数

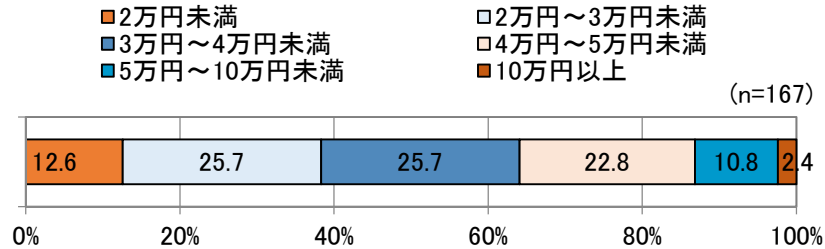
中国地方を旅行する場合の予定日数は、「2泊3日」が過半数となっている。



(2)費用

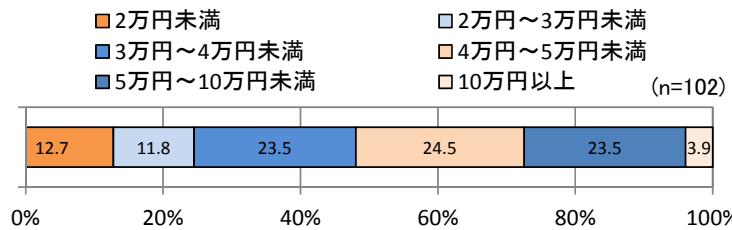
中国地方を旅行する場合の費用は、「2～3万円」「3～4万円」がそれぞれ25.7%と多くなっているほか、4～5万円も20%以上あり、交通手段や日程等により旅行費用に差が生じていると思われる。

「中国地方」旅行予定日数での妥当な一人分の費用



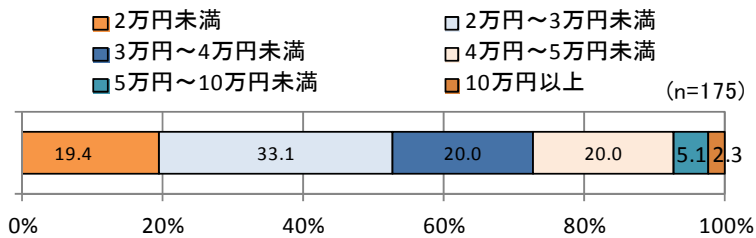
(参考:首都圏調査結果(平成24年度))

「中国地方」旅行予定日数での妥当な一人分の費用



(参考:関西圏調査結果(平成25年度))

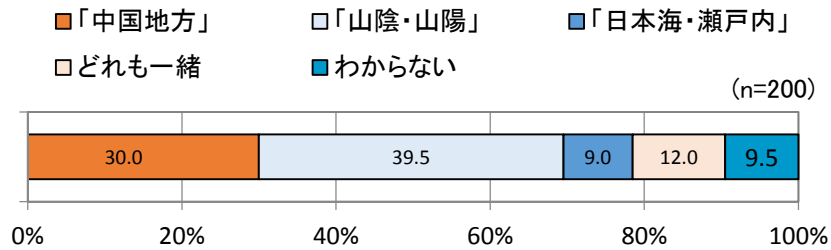
「中国地方」旅行予定日数での妥当な一人分の費用



7) 中国地方の名称

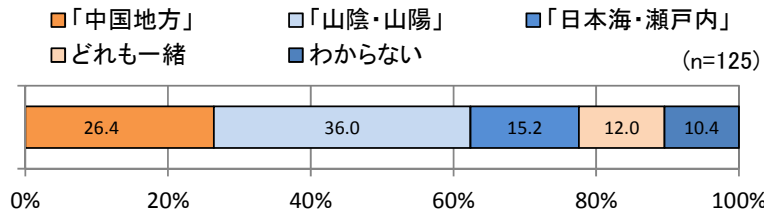
親しみやすさを感じる「中国地方」の名称を聞いたところ「山陰・山陽」が最も多く、約40%を占めている。

親しみやすさを感じる「中国地方」の名称



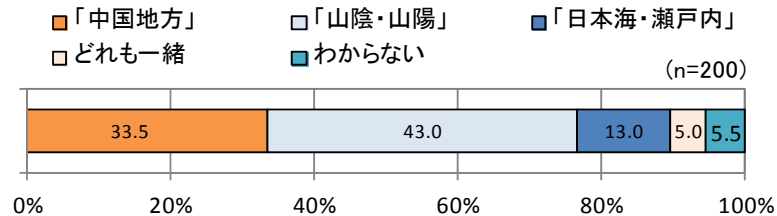
(参考: 首都圏調査結果(平成 24 年度))

親しみやすさを感じる「中国地方」の名称



(参考: 関西圏調査結果(平成 25 年度))

親しみやすさを感じる「中国地方」の名称



8) 中国地方のイメージ

中国地方のイメージについて自由に記載して頂いたところ、自然が多いイメージが多く、その他、歴史がある、食べ物が美味しいなどの記載が多かった。

<自然が多いイメージ（自然が豊富・海がきれい等）>

自然	男性	40代
自然が残っている	女性	50代
自然が多い	女性	30代
自然が多い	男性	40代
自然が豊か	男性	50代
自然が豊か	女性	40代
自然が豊か	男性	60代
自然が豊か	男性	30代
自然が豊かなイメージ。	女性	40代
自然と海の幸、山の幸を5感で味わいたい。処。	男性	50代
自然と触れ合える。落ち着く。リフレッシュできる。	男性	40代
自然にあふれている	男性	20代
自然のままの姿が残っている所が多いと思う。	男性	60代
自然や伝統的な歴史がたくさんある。都会的なイメージはない。	女性	30代
自然的な観光地や文化的な観光地が多い	男性	30代
自然豊か	女性	40代
自然豊か。	女性	30代
懐がふかい自然が多いのでどこにいても癒されます。日本海も瀬戸内海も海の幸が楽しめるので食事がたのしみ。	女性	50代
山	男性	30代
山が多い	女性	30代
山が多い	男性	40代
山岳地帯、静か	男性	50代
瀬戸内海	男性	40代
瀬戸内海	女性	20代
瀬戸内海が美しい	男性	60代
瀬戸内海と山陰の山。	男性	50代
瀬戸内海と日本海を同時に楽しめる	男性	50代
瀬戸内側は穏やかで、島々の見える海の風景がいい。	女性	40代
瀬戸内側には魅力は感じないが、日本海の雄雄しさとは裏腹な肌理細やかな地方性には惹かれます。	男性	50代
日本海がきれい	男性	60代
日本海と瀬戸内海に挟まれて極端に環境の違いのある所	男性	40代
日本海側と瀬戸内海側でイメージが全然違う	女性	20代
日本海側に行ってみたい。	男性	50代
海がきれいだった	男性	40代
海が綺麗	男性	30代

海も山もあり、自然が豊かな場所だと思う。	女性	40代
潮のかおり	男性	60代
砂丘	女性	40代
砂丘がある。	女性	30代

<歴史的なイメージ>

風光明媚で歴史的にも魅力がある	女性	60代
文化的・歴史的イメージがある	男性	30代
毛利	女性	50代
歴史、風景	男性	70代
歴史のある土地や建物がたくさんあり、その周りには豊かな自然が残っていてとても良いところだと思います。	男性	50代
歴史や自然が豊か	男性	30代
歴史や自然の見所が沢山有ると思います。	男性	60代
歴史を感じる景観	女性	60代
歴史遺産が多い	女性	30代
歴史的な景観が見られる、移動に時間がかかる	女性	30代
歴史的な名所が多くある	女性	30代
様々な歴史の舞台としても興味あり。	男性	60代
各県が独特の文化と歴史を持っている。	女性	40代
歴史ある出雲大社	男性	40代
歴史的にも面白いところなので観光するところもたくさんある。	女性	50代
中国地方全体は、歴史や文化を感じられ、食べ物がおいしく温泉がたくさんある。	女性	40代

<食に関するイメージ>

魚が美味しい	女性	50代
食べ物がおいしい	男性	50代
食べ物が美味しい	男性	50代
牡蛎	女性	40代
広島のお好み焼き、出雲そば	男性	40代

<その他の良いイメージ>

温暖な気候	男性	40代
穏やか	女性	50代
穏やか	男性	60代
山陽と山陰は違う印象がある	男性	40代
山陰と山陽で雰囲気が違う	男性	40代
瀬戸内と日本海側全く雰囲気の異なる観光名所があり、興味深い。	男性	60代
九州住まいなので少し遠出の気分を楽しんだり、紅葉を楽しめそうな気がする。	女性	30代
観光するところが沢山ある	女性	40代
景色が良い	男性	70代
綺麗な風景が多い	男性	60代
景色がいい。	男性	30代

身近	男性	50代
人が良い	男性	30代
天気が良い。	男性	30代
道が立派	男性	40代
高速道路の走行量が少ない	男性	30代

<その他のあまり良くないイメージ>

交通の便が不自由	女性	30代
山陰へのアクセスが悪い。	男性	50代
JRがボロ列車ばかり	男性	30代
一か所ではなく、観光地があちこちに点在している。	女性	50代
いろいろなところを回りたいと思うと、交通の便が悪いので、車が必要。	女性	40代
交通環境が悪い	男性	30代
交通費がすごくかかる場所に住んでいるので、すごく行きにくい。	女性	40代
行きたいと思いつつ、何となく後回しになってしまっていた場所	女性	40代
日本海側は冬とても寒そう。	女性	30代
寒い	男性	40代
寒い、きたない	男性	50代
さびれている	男性	50代
地味	男性	40代
地味 ゴミゴミしてない。	男性	50代
地味なイメージ	男性	50代
地味なイメージ	女性	50代
印象が薄い	男性	40代
あまり目立たない	女性	30代
あまり有名どころが少ない	女性	30代
いまいち観光名所がない	男性	30代
是非行きたいというところが思い浮かばない	女性	40代
何もない	男性	30代
知らない	女性	40代
イメージがわからない	女性	50代
イメージがわからない	男性	40代

9) 中国地方の特産品

中国地方の特産品について思い付くものを3つまで記載して頂いたところ、もみじ饅頭、ふぐ、牡蠣、お好み焼きが多く、首都圏・関西圏調査結果に比べ山口県のふぐ、萩焼のイメージが強くなっている。

もみじ饅頭	42
ふぐ (ふく、トラフグ)	37
カキ (牡蠣)	36
お好み焼き	26
もも	9
きび団子	9
萩焼	8
しじみ	8

(参考: 首都圏調査結果)

牡蠣	24
もみじ饅頭	19
ふぐ	15
お好み焼き (広島焼き)	15
きび団子	11
桃	10
マスカット・ぶどう	8
梨 (二十世紀梨、鳥取の梨)	4

(参考: 関西圏調査結果)

もみじ饅頭	45
牡蠣	35
梨 (二十世紀梨、鳥取の梨)	25
ふぐ	24
もも	19
きび団子	18
お好み焼き (広島焼き)	14
マスカット・ぶどう	11

10) 周遊ルート

中国地方を旅行する場合、周遊したいと思われるルートについて自由記述をしてもらったものを、起点となる県別に整理した。広島県や岡山県を起点するルートを回答した人が多く、周遊ルートとして中国地方全県を巡るという回答よりも2県程度を周遊するという回答が多くなっている。

起点	ルート	自由記述内容	
鳥取起点 8	鳥取→岡山→広島→山口	鳥取砂丘→境港、蒜山、萩、秋吉台、岩国、宮島、倉敷	
	鳥取→島根→広島→山口	鳥取砂丘→出雲大社→広島市街→宮島→錦帯橋→下関	
	鳥取→島根→広島	皆生温泉→石見銀山→津和野→広島	
	全県0	鳥取→島根→山口	鳥取砂丘→出雲大社→下関
		鳥取→島根	鳥取→出雲→益田
	4県2	鳥取→島根	鳥取→倉吉→米子→松江→出雲
3県2	鳥取→広島	鳥取→宮島	
2県3	鳥取県内	鳥取～岩美～米子	
島根起点 8	中国地方周遊	出雲→鳥取→岡山→広島→山口	
	島根→鳥取→岡山→山口	出雲→松江→境港→岡山→岩国	
	島根→鳥取→岡山	出雲→鳥取→倉敷	
	全県1	島根→山口→広島	出雲→萩→宮島
		島根→鳥取	出雲、松江、境港、
	4県1	島根→山口	津和野→萩
	3県2	島根県内	隠岐
	2県1		隠岐→出雲→石見
1県1			
岡山起点 4	中国地方周遊	岡山→美作→鳥取→松江→出雲→広島→下関	
	岡山→広島→山口	岡山→倉敷→広島→萩	
	岡山→鳥取→島根	岡山→鳥取→島根	
	岡山県内	岡山→倉敷	
広島基点 17	広島→岡山→鳥取→島根	広島→岡山→鳥取→松江	
	広島→鳥取→島根	尾道→鳥取砂丘→石見山銀山	
	広島→島根→鳥取	宮島→出雲→鳥取	
	全県0	広島→島根→山口	呉→出雲→長門
		広島→岡山→島根	広島→岡山→安来→出雲
	4県1		広島、尾道、岡山、蒜山、松江
		広島→岡山→山口	呉→福山→倉敷、岩国→宮島
	3県6	広島→島根	広島 宮島 安来
			広島→出雲→広島
	2県8	広島→岡山	宮島→広島市→尾道市→倉敷市→瀬戸大橋
			宮島→瀬戸大橋
			江田島→牛窓
			尾道→倉敷
			呉 尾道 倉敷
1県2	広島→山口	宮島→岩国→萩	
	広島県内	しまなみ海道→尾道→広島	
		宮島→広島→呉	

起点	ルート	自由記述内容
山口起点 41 全県 9 4県 2 3県 8 2県 19 1県 3	中国地方周遊	山口～島根～鳥取～岡山～広島
		下関～宮島～岡山～鳥取～松江
		下関→岩国→広島→鳥取砂丘→出雲大社
		下関 - 萩 - 米子 - 岡山 - 広島
		下関→広島→蒜山→大山→鳥取砂丘→出雲大社
		下関→出雲→松江→米子→鳥取→倉敷→岡山→福山 →尾道→広島→山口
		萩→出雲→米子→倉敷→尾道→呉
		下関→萩→出雲→松江→鳥取→津山→岡山→尾道→ 広島→岩国→下関
		萩・出雲・松江・鳥取・岡山・広島
	山口→島根→広島→岡山	山口→島根→広島→岡山
	山口→島根→鳥取→広島	萩→松江→倉吉→広島
	山口→島根→鳥取	萩→出雲→鳥取
	山口→島根→広島	山口→島根→広島
		萩→益田→江津→三次→呉→岩国
	山口→岡山→鳥取	下関→岩国→岡山→境港
	山口→広島→鳥取	下関→尾道→鳥取→広島
	山口→広島→岡山	山口 広島 岡山
		下関 府中 新見
		下関→広島→瀬戸内海の島々→岡山
	山口→鳥取	山口→鳥取
		長門、玉造温泉、鳥取砂丘
		山口→鳥取
	山口→島根	下関→萩→出雲
		下関→出雲
		長門→萩→出雲
		萩→出雲
		萩→出雲
		萩→出雲→松江
		萩→石見→出雲→松江
		萩→津和野→出雲
		山口→島根
	山口→広島	下関→広島→芸北
		下関→長門→萩 →岩国→呉→尾道
		下関→萩→岩国→広島→呉→尾道
		下関→萩→宮島
		下関→萩→宮島
		関門海峡～萩～広島
		尾道～愛媛
		山口県内
	下関→萩	
	山口	
下関		

3. まとめ

(1) 九州圏、首都圏、関西圏の特徴比較

	九州圏在住者 H27.3 調査	首都圏在住者 H25.3 調査	関西圏在住者 H26.3 調査
訪問したことのある観光地	①宮島 28.0% ②秋吉台・秋芳洞 25.0% ③広島 24.5% ③下関 24.5% ⑤出雲 17.0% 行ったことは無い 16.5%	①広島 26.4% ②宮島 20.0% ③倉敷 19.2% ④出雲 13.6% ⑤岡山 11.2% 行ったことは無い 31.2%	①鳥取 35.5% ②広島 28.5% ③倉敷 27.0% ④宮島 19.0% ⑤出雲 18.5% 行ったことは無い 8.0%
訪問したことのある県	①山口県 33.7% ②広島県 27.5%	①広島県 27.3% ②島根県 25.1%	①鳥取県 29.3% ②岡山県 23.8%
未訪問理由	①きっかけがない 72.7% ②時間が無い 21.2% ③旅費が高い 18.2% ③遠い 18.2% 情報が少ない 6.1% 話題にならない 12.1%	①きっかけがない 71.8% ②遠い 53.8% ③旅費が高い 20.5% 情報が少ない 12.8% 話題にならない 12.8%	①きっかけがない 81.3% ②時間が無い 18.8% ③遠い 12.5% 情報が少ない 0.0% 話題にならない 0.0%
満足度	全体 61.5%	全体 62.8%	全体 59.8%
満足度理由	①自然景観 38.5% ②歴史・文化 33.8% ③雰囲気 33.2%	①歴史・文化 47.3% ②自然景観 41.5% ③観光施設 30.0%	①自然景観 38.5% ②観光施設 35.0% ③歴史・文化 33.4%
行ってみたい観光地	①鳥取 33.5% ②出雲 27.5% ③宮島 19.0% ④石見銀山 10.5% ⑤広島 10.0% 行ってみたいところはない 16.5%	①鳥取 32.0% ①出雲 32.0% ③広島 16.8% ④宮島 16.0% ⑤秋吉台・秋芳洞 12.0% 行ってみたいところはない 18.4%	①出雲 22.0% ②鳥取 14.5% ③宮島 12.0% ③しまなみ街道 12.0% ⑤隠岐 11.0% 行ってみたいところはない 12.5%
旅行予定日数	①2泊3日 52.1% ②1泊2日 29.3%	①2泊3日 50.0% ②3泊以上 38.2%	①2泊3日 44.6% ②1泊2日 42.3%
特産品イメージ	①もみじ饅頭 42人 ②ふぐ 37人 ③牡蠣 36人 ④お好み焼き 26人 ⑤もも 9人 ⑤きび団子 9人	①牡蠣 24人 ②もみじ饅頭 19人 ③ふぐ 15人 ③お好み焼き 15人 ⑤きび団子 11人	①もみじ饅頭 45人 ②牡蠣 35人 ③梨 25人 ④ふぐ 24人 ⑤もも 19人
傾向・特徴	・2泊3日までの日程で山口～広島を周遊 ・自然景観、歴史・文化を同等に評価 ・未訪問の理由として情報が少ないが1割弱、話題にならないが1割強	・2泊3日以上で島根、広島を中心に中国地方を満遍なく周遊 ・歴史・文化により重きを置いて評価 ・未訪問理由として情報が少ない、話題にならないが1割強	・2泊3日までの日程で広島・宮島及び鳥取～岡山を周遊 ・自然景観、歴史・文化を同等に評価 ・未訪問理由として情報が少ない、話題にならないという理由は無し

(2) 九州圏在住者の特性に着目した活用資源・ターゲット

○山口県内への訪問率の高さを活かしたリピーターの獲得

中国地方への訪問経験率では、九州圏に隣接する山口県が高くなっており、山口県がアクセスしやすい身近な観光地となっていることがわかる。特に下関や秋吉台・秋芳洞は訪問率 25%となっており、満足度も 6 割以上と高いことから、今後も山口県内観光地への誘客推進により、リピーターの獲得、満足度の向上を図ることが望まれる。ただし、山口県内の周南・下松・光や柳井・周防大島は訪問経験率が 0%であり、九州圏からのアクセスの良さを活かした魅力のPRが必要である。

○鳥取への訪問希望率の高さを活かした誘客

中国地方への訪問希望率では、訪問希望地をみると、鳥取、出雲、宮島、石見銀山の訪問希望率が高くなっており、特に鳥取の訪問希望率は首都圏や関西圏よりも高い数値となっている。今後、九州圏をターゲットとして、鳥取県及びその周辺の温泉や松江・出雲などを組み合わせた情報発信により、山陰への誘客が期待出来る。

○自家用車での来訪者に向けた広域周遊ルート形成

中国地方を訪れた際の交通手段は岡山県では新幹線が過半数となったが、広島県では自家用車利用が新幹線利用を上回り、それ以外の県においては自家用車が半数以上を占めるなど、中国地方全体でみると自家用車利用が 54.4%となっている。中国横断自動車道尾道松江線の全線開通を契機として、山陽自動車道、中国自動車道のSA・PA、沿線の「道の駅」における情報提供や、行政・NEXCO 西日本等と連携したETC利活用による高速道路等の定額周遊メニューの開発・展開などを通じた周遊性の向上により、山陽・山陰を結ぶ広域周遊ルートの形成が望まれる。

○雪山誘客の可能性の検討

首都圏、関西圏からの訪問経験率が 0%であるが、九州圏からは訪問経験がある地域として隠岐 (0.5%、1名)、芸北 (2.5%、5名) が挙げられる。安芸太田町、北広島町などの芸北地域はスキー場を有しており、九州圏に一番近い豪雪地帯としてPRを展開していることから、今後一層の誘客が見込まれる。

(3) 今後のプロモーションについて

○旅行の「きっかけ」に繋がるような情報発信

中国地方に行ったことがない理由としては、首都圏、関西圏と同様に「きっかけがない」という消極的な理由が上位になっている。こうしたことから、情報発信においては、「旅行のきっかけ」に繋がるような情報発信の仕方が求められる。特に関西圏では 0%であった「情報が少ない」「話題にならない」という回答が九州圏では 1 割前後あり、九州圏のテレビ・ラジオ・新聞・雑誌などのメディアにおける露出が少ないものと思われる

ことから、NHK 大河ドラマ「花燃ゆ」ゆかりの地であることの積極的なPRなど、知名度上昇や「旅行のきっかけ」につなげるよう、メディアを中心にプロモーションしていくことが求められる。

○山口県を入口とする周遊ルートのプロモーション

九州圏から想定される中国地方の周遊ルートとしては、山口県を入口として2～3県程度を周遊するという回答が多かった。今後のプロモーションの内容として、山口県だけでなく、JRと高速バスを組み合わせた旅行商品造成等により鳥取や出雲など山陰地域への周遊を促すことに加え、山陽と山陰を結ぶ広域周遊ルートの提案が必要である。

○中国地方のイメージを活かしたPR

中国地方のイメージに関する自由記述では、自然が豊か、海がきれいといった自然景観のイメージが多く、次いで文化的・歴史的なイメージが挙げられている。今後の観光の主役を占める中高年齢層においては、知的欲求の満足に加え、「自然」の中での癒しやリラックスを求める志向が強いことから、歴史・文化資源のガイドサービスとともに、自然体験型のサービスが九州圏からの旅行者にアピールすると思われる。

○山陰の「食」のイメージ形成

中国地方のイメージに関する自由記述では、あまり「食」に関するイメージは挙げられていない。また、中国地方の特産品の知名度を見ると、「もみじ饅頭」「ふぐ」「牡蠣」「お好み焼き」「もも」「きび団子」の順番となっており、広島県、山口県の食べ物のイメージが上位に挙げられている。関西圏では上位に挙げられた鳥取県の「梨」をはじめ、島根県の「出雲そば」、「松葉ガニ」、「のどぐろ」等の山陰の食資源について、さらなる情報発信が必要である。

(4) 受入環境の充実について

中国地方の満足度の理由として「自然景観」が挙げられ、観光施設、歴史・文化、雰囲気などの要素を含め中国地方の観光の魅力が形成されている一方、宿泊施設、温泉、ガイドなどの満足度の評価は低くなっている。今後、口コミによるイメージ向上を図るためにも、宿泊施設、温泉、ガイドなど、各地の受入環境の一層の充実が必要と思われる。